

## 会 議 録

会議の名称	平成30年度第1回川越市交通政策審議会
開催日時	平成30年10月23日（火） 午前10時00分～午前11時35分
開催場所	川越市役所 第5委員会室
出席者	久保田尚委員、尾崎晴男委員、長田雅基委員、伊藤正子委員、荻窪利充委員、吉田光雄委員、新井正司委員、竹澤譲治委員、原伸次委員、杉山榮子委員、鈴木良枝委員、小宅道夫委員、山田誠次委員、新井淳一委員、山科和仁委員、堀米康史委員、畦地英樹委員、工藤憲一委員、山内章一委員、三上秀樹委員（合計20名）
傍聴者	1名
欠席者	埼玉県川越警察署交通課 本多 一美委員
事務局職員	二瓶都市計画部長、間仁田課長、倉本副課長、榎本副主幹、佐藤主査、石塚主任（合計6名）
会議次第	別紙のとおり
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成30年度第1回川越市交通政策審議会 次第</li> <li>○委員名簿兼出席者名簿</li> <li>○席次表</li> <li>○デマンド型交通の運行に関する事業スケジュールについて（資料1）</li> <li>○新たな交通運行業務公募型プロポーザル選考結果について（資料2）</li> <li>○川越市デマンド型交通運行計画（資料3）</li> <li>○川越市デマンド型交通 愛称の募集について（案）</li> </ul>
会議要旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越市デマンド型交通について <ul style="list-style-type: none"> <li>①事業スケジュールについて</li> <li>②運行計画について</li> <li>③愛称の募集について</li> </ul> </li> <li>→①から②について説明。 質問・意見をいただき、引き続き運行に向けた準備を進めることにした。</li> <li>→③について説明。 事務局案のとおり進めることに決定した。</li> </ul>

議 事 の 経 過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	事務局（間仁田課長）から、当審議会は特段の理由がない場合は公開のため、傍聴ができることとなっているが、傍聴者は現在のところ1名おり、入室してもらっている。 また、当審議会は附属機関のため、代理は認められていないが、委員の欠席により今後の審議に影響が出るかもしれないため、担当者を出席させたいとの申し出があったため、川越警察署の神谷氏を参考人として、出席を認めてよろしいか委員に諮ったところ、異議は無かったことから、出席が認められた。
事務局	1 開会
事務局	2 委嘱書の交付 ・川越市議会議員 吉田 光雄 委員 ・西武バス株式会社 新井 淳一 委員
会長	3 あいさつ
事務局	4 議事 (1) 川越市デマンド型交通について ①事業スケジュールについて ②運行計画について 事務局から①と②を一括説明。
議長	事務局より一括で説明があったが、何か意見・質問はあるか。
委員	資料2の評価基準について、評価項目の2運行体制、3安全管理、4危機管理で合計60点になり、重点項目になると思うが、この項目で7割5分以上の点数が付いているのか。
事務局	採点の審査内容は非公開になっており、具体的には申し上げられない。ただ、審査員5名からは概ね高い評価をいただいている。
委員	もう1点あるが、公募に対する申し込みが1者だったようだが、問題ないのか。

事務局	<p>今回のプロポーザル案件については、「川越市プロポーザル方式の実施に関する基本指針」に則り実施したものであり、たとえ申し込みが1者であっても実施できることとなっている。</p> <p>また、参加条件としては、川越市入札等参加資格者名簿に登録してあることが必要となり、発注案件に適した業種に登録されていることが必要となる。デマンド型交通の業種は輸送業務となり、バス会社やタクシー会社は数多く登録されているが、結果としては1者のみ、手を挙げた。</p>
委員	<p>質問ではなくお願いだが、障害者の方にも使いやすいよう、理解しやすいように、配慮をしていただきたい。</p> <p>また、乗降場の周知についても丁寧をお願いしたい。</p>
事務局	<p>申請書に本人状況等記載する欄があり、システムに登録すれば運転手は事前を知ることができるので、利用される際には、配慮していきたい。</p> <p>また、周知についても、広報川越などを利用し、できるだけ分かりやすいように伝えていきたい。</p>
委員	<p>住民説明会は市民センターで行い、その後、自治会単位による説明会も行うということで、回数も多く丁寧で良いと思う。</p> <p>来年度の地区1、地区2の開始時期は決まっているのか。</p>
事務局	<p>現時点では具体的にいつから開始するかは、決まっていない。</p>
委員	<p>地区3の導入準備の良い点、悪い点を踏まえて、焦らず丁寧に説明しながら、進めていただきたい。</p> <p>輸送業務で川越市入札等参加資格者名簿に登録されている会社は何者なのか。</p>
事務局	<p>資料が無く、正式な数は分からないが、30者程度だったと思う。</p>
委員	<p>プロポーザルの内容は非公開ということだが、どこが減点で、どこが加点対象だったかを教えてほしい。</p> <p>また、合格点のラインは設けていたのか。</p>
事務局	<p>審査内容は非公開になっており、具体的には申し上げられない。</p> <p>また、合格点のラインは設けていなかった。次回以降はそのあたりも踏まえて検討していきたい。</p>

委員	来年度地区1、地区2が開始予定であるが、地区3と運行事業者が違う場合、区域間の連携や引き渡しなどは対応できるのか。
事務局	地区間での移動は、乗り継ぎ乗降場などを設けて、対応することを検討していきたい。
委員	予約は電話のみの対応なのか。
事務局	今現在は電話予約だけだが、今後可能な限りWeb予約等も検討して、対応できるようにしていきたい。
委員	利用者の中には、聴覚障害の方などもいるので、できるだけ早くだれでも利用できるようにしていただきたい。 また、乗降場についても、車イスの利用者や精神障害をお持ちの方もいると思うので、スペースや安全面での配慮をお願いしたい。
事務局	公共施設や商業施設などは、屋根のある場所などを検討し、利用しやすいような場所を選んでいく。ただし、相手があることなので、断られることもある。 その場合でも、乗り降りする場所の安全性については事前に確認した上で、設定している。
委員	現在、まだ検討中の乗降場は何か所あるのか。
事務局	20カ所程度である。 特に商業施設などは、大きい企業ほど説明回数が増え、その分時間がかかっている。また、地域に設ける乗降場も検討中の場所がある。
委員	資料1の今後のスケジュールで、31年1月下旬以降に地域における説明会を行う予定とあるが、現時点で回数や具体的なイメージはあるのか。
事務局	説明会の回数や、どのように行うかは、現在検討中である。
委員	プロポーザルについて、川越市入札等参加資格者名簿に登録されていない事業者に見積依頼をした経緯は。
事務局	登録されていない事業者に見積依頼をしたのは、あくまでも参考見積であ

	り、事業費を決定する際は、登録事業者に見積を依頼して算出している。
委員	市民への配布物、申込書やチラシなどには、できるだけ電話番号だけでなく、FAX番号も掲載していただきたい。電話を使用できない人もいると思う。また、今後市民の方への周知はどのような媒体を使い、効果的に広めていくのか。
事務局	周知方法については、広報やホームページ、リーフレットを作成し公共施設や商業施設などに置くなど、様々な媒体を使い、お知らせしていきたい。また、委員の皆様にもご協力いただき、普及活動をお願いしたい。
委員	デマンド型交通を始めるのは良いが、既存の公共交通の維持もお願いしたい。路線バスやタクシーなどの推進もしていただきたい。 また、今後相乗り率を高めていくことで、効率の良い運行になると思うが、そのあたりは何か考えているのか。
事務局	既存の公共交通になるべく影響が出ないように、過剰なサービスなどは控えていきたい。 また、状況を見て判断するが、割引制度等を検討し、相乗り率を高める取り組みも検討していく。
委員	地区毎に運行事業者が違っていると、どのような契約形態になるのか。 また、その場合に予約センターの番号はどのようになるのか。
事務局	契約については、運行事業者と市で協定を締結する予定である。協定は単年度になるが、問題が無ければ5年間継続して運行していただく。 また、年間の事業費は限度額を設けており、それ以上は支出しない。 次に、予約センターの番号については、運行地域によって番号を変えるか、一本化するかは、現在検討中であり、課題となっている。
委員	デマンド交通の概要は高齢者には難しい。先ほど、広報等で周知していくということであったが、やはり地域に寄り添うかたちで、自治会での説明会が一番大事だと思う。行政の負担は増えるが、できる限り説明会を実施していただきたい。
議長	質問が終了したので、川越市デマンド型交通についての議事は、終了とする。

事務局	5 その他 車両の愛称募集について 事務局より説明
議長	事務局より説明があったが、何か意見・質問はあるか。
委員	公募にすることで親しみが持てるので、良い方法だと思う。 気になるのが、導入時は車両に川越市デマンド型交通とラッピングすると思うが、愛称が決まった場合、名称変更が必要だが、どのように対応するのか。
事務局	最初のラッピングの際に、剥がせるようシールなどで対応し、なるべく費用負担の少ない方法を検討している。
議長	スケジュールは決まっているのか。
事務局	詳細なスケジュールは検討中である。教育委員会と連携し、夏前後を目途に募集したいと考えている。
委員	小学生は春休みが宿題が無いので、春の方が良いのではないかと。乗り物について、考える良い機会である。
委員	市外の方も参加できるようにして良いのではないかと。
事務局	検討させていただく。
議長	それでは、事務局は今の意見を参考にして、引き続き準備を進めていただきたい。 委員よりその他、何かあるか。無ければ、以上で予定された議事はすべて終了した。円滑な審議にご協力いただき、感謝申し上げます。
事務局	6 閉会

以上